

支援プログラム

事業所名	多機能型支援事業所ウィステリア（児童発達支援）				作成日	2026年4月1日
法人（事業所）理念		Wisteriaでは、一人ひとりの気持ちと選択を大切にし、安心して過ごせる居場所をつくります。遊びや人との関わりを通して「できた」「わかった」「またやりたい」を積み重ね、子どもたちが自信を持って日々の生活を送れるように支援します。				
支援方針		子どもの「好き」「やってみたい」を支援の出発点とし、無理強いをせず、一人ひとりのペースを尊重します。遊びを中心とした自然な関わりの中で、順番を待つ、ルールを理解する、気持ちを伝える、相手の気持ちに気づく、困った時に助けを求める、気持ちを切り替える等のソーシャルスキルを楽しく学べるよう支援します。成功だけを求めず、失敗や行き違いも職員と一緒に振り返り、次の行動につなげます。				
営業時間		平日 9時30分から12時45分まで 祝日・学校休業日 9時00分から12時15分まで	延長支援	あり	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	来所時の体調確認を行い、安心して活動できる状態を整えます。遊びや日課の中で、着替え、排泄、食事、手洗い、片付け等の基本的な生活動作を、子どもの発達段階に合わせて少しずつ経験します。「自分でやりたい」気持ちを大切にし、必要な部分だけを手伝うことで自立につなげます。				
	運動・感覚	感覚の特性に配慮し、安心して身体を動かせる環境を整えます。トランポリン、マット、ダンス、ボール遊び等で全身を使う楽しさを経験し、ブロック、積み木、工作、お絵描き、紐通し等で手指の操作性を育てます。苦手な感覚には無理に慣らすのではなく、安心できる方法や休み方も一緒に見つけます。				
	認知・行動	積み木、型はめ、パズル、ブロック、絵本、リズム遊び、ヴィジョントレーニング等を通して、見る・聞く・まねる・比べる・選ぶ・見通しを持つ力を育てます。試してうまくいかなかった経験も大切にし、職員と一緒に別のやり方を考えることで、柔軟に行動する力や「できた」という自信につなげます。				
	言語・コミュニケーション	遊びや日常のやり取りの中で、要求、拒否、選択、質問、報告など、自分の気持ちや考えを相手に伝える経験を増やします。言葉だけにこだわらず、表情、身振り、絵カード、写真等も活用し、「伝わった」「分かってもらえた」という経験を積み重ねます。				
	人間関係・社会性	職員や友達との遊びを通して、一緒に楽しむ、まねる、順番を待つ、貸し借りをする、簡単なルールを守る、気持ちを切り替える等のソーシャルスキルを育てます。トラブル時は気持ちを代弁しながら、相手にも気持ちがあることに少しずつ気づけるよう支援します。無理に集団参加を求めず、一対一・少人数から安心して人と関われる経験を広げます。				
家族支援		定期的な面談や日々の連絡を通して、家庭での様子、成長、困りごとを共有します。事業所でうまくいった声かけや環境調整を具体的に伝え、家庭で取り入れやすい方法を一緒に考えます。保護者の気持ちにも寄り添い、子育てに関する相談援助を行います。		移行支援	幼稚園・保育園・こども園・相談支援事業所等と必要な情報を共有し、集団生活への適応や就学を見据えて支援します。本人の得意なこと、安心できる関わり方、配慮事項を整理し、新しい環境でも力を発揮できるようつなげます。	
地域支援・地域連携		・幼稚園、保育園、こども園、相談支援事業所、児童相談所、医療機関等との連携 ・地域イベントや公共施設を活用した体験活動 ・放課後等サービスや他事業所との異年齢交流		職員の質の向上	・事業所内研修（月1回） ・外部研修・Web研修への参加 ・支援の振り返り・事例共有を通じた支援の統一	
主な行事等		季節の行事、外出体験、公共施設見学、制作活動、プール、ボードゲーム活動、親子参加イベント、保護者会、放課後等サービスとの合同活動、他事業所・地域との交流等。				